

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年9月25日

【評価実施概要】

事業所番号	2371001336		
法人名	医療法人 純正会		
事業所名	グループホーム サンハウス荒子		
所在地	名古屋市中川区高畑二丁目274番地 (電話) 052-353-0351		
評価機関名	福祉総合調査研究機関 株式会社ヤトウ		
所在地	名古屋市中区金山一丁目8番20号 シャローナビル7A		
訪問調査日	平成19年8月3日	評価確定日	平成19年9月25日

【情報提供票より】(平成19年7月19日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 16年9月1日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	17 人 常勤 8人, 非常勤 7人, 常勤換算 7.45人

(2) 建物概要

建物構造	RC 造り
	3 階建ての 2~3 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	20,000 円	
敷金	有(円) (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	(有) 200,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	(有) / 無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	400 円
	夕食	500 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(平成19年7月19日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	6名	要介護2	4名		
要介護3	5名	要介護4	2名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 82 歳	最低	64 歳	最高	96 歳
協力医療機関名	名古屋西クリニック病院、東洋病院				

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは住宅街にあり、近くには荒子公園や荒子観音があり、入居者は散歩をしたりお参りをするなど恵まれた環境である。1階は法人のデイサービスセンターになっており、玄関を出入りするときに様子を見ることもできる。ホームは医療法人のため、医療面で連携が取りやすく、本人や家族は安心して生活している。重度化や終末期に向けての方針があり、職員はそれに対応できるよう勉強していきたいと思っている。入居者や家族により沿い、居心地の良いところになるよう努めている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	評価結果を全職員が目を通し、重点的改善点を管理者が指示し、改善に努めた。職員主導ではなく本人の意向や行動に沿った介護について討議している。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価を全員に配布して取り組んだ。職員は1年を振り返り改善すべきことを自覚し、家族からの意見も取り入れ、できることから改善に取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	職員の異動や入退居者の状況、入院された方の状況、避難訓練実施についてなどホームの現状について報告した。家族からは、認知症が進んだ場合について質問があり、ホーム側は対応について話した。これらは外部評価後の運営推進会議で報告されている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族の面会も多く、その折に意見や要望を聞いている。また、「日常のご家族への連絡について」やアンケートでも家族の意見を聞き、運営に反映するよう努めている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会や自治会には加入していないが地域の敬老会やお祭りに参加している。近くの学校の体験学習では生徒との交流を楽しみにしている。地域住民との積極的な関わりはないが、散歩時の挨拶や会話はしている。6月には消防署の協力を得て防火災訓練を実施した。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「一人ひとりの個性を尊重し家庭的で穏やかな暮らしを目指す」を理念としている。ホーム内では家庭的な介護でその人らしく穏やかな生活ができるよう支えている。		管理者は、あくまでもホーム内で家庭的に過ごすことを重点に考えているが、さらに地域の中でその人らしく生活するということにも配慮し、理念に織り込むことを期待したい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念はパンフレットや各階の入口に掲示し、入社時には書いたものを渡し、日々ケアに取り組んでいる。フロア会議で話すこともあり、職員には浸透している。サービス提供は入居者中心に考え、声かけを尊重し指示でなく話をして入居者の希望を聞くよう心がけている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の敬老会やお祭りに参加しているが、町内会や自治会には加入していない。地元の人とは挨拶はするが積極的な交流には努めていない。ホームが入居者や家族にとって居心地の良い場であるよう努め、外部に対しては開けっぴるげにしないことを家族も望んでいる。		地域とつながりのある暮らしの支援をホームが積極的に支え、地域と支えあう関係づくりに期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員はみな自己評価に真剣に取り組んでいる。前回の自己評価について評価結果に目を通したり、ミーティング時に改善点などを話し合い、実施に取り組んでいる。鍵の問題は、危険防止のため家族や職員の考えを尊重し施錠している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は家族会もかね、3カ月に1度ホームの現状や入居者の状況を報告している。メンバーは、入居者や家族、職員、訪問看護ステーションの管理者であり地域代表は入っていない。</p>		<p>今後は、町内会長や自治会長、民生委員にも呼びかけて地域密着型の役割を果たしていくことが望まれる。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>保護係には、入居者の状態について相談に行ったりしているが、行政とホームの取り組みを共有するには至っていない。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>職員は家族の来訪時に日々の入居者の状況を話している。毎月発行のホーム便りや近況報告を郵送して日頃の写真や生活の様子、健康状態、立て替え金の支出状況を報告している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族は訪問時に意見や要望がある場合は直接言っている。家族会では、ホームへの要望を聞き意見を出せる機会づくりにし、家族からの要望を運営に反映させていく取り組みをしている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>入居者への職員異動の説明や挨拶は本人に任せており、入居者の反応は様々だが、じきに慣れていく。新しい職員は慣れた職員と共にケアにあたり、支障のないようにしている。職員のユニット間の異動はあるが、他のユニットの職員でも入居者と馴染みの関係をつくっていることから、異動しても入居者へのダメージは少ない。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員へは、外部研修には研修費の補助をして参加を勧めているが参加は少ない。月1回のミーティングやカンファレンスを通して認知症の勉強をしている。</p>		<p>職員が経験や習熟度に応じて力をつけていくために、研修の機会を確保できるよう事業所として計画されていくことに期待したい。また、施設内でも定期的に研修の実施をされていくことが望まれる。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者とのネットワークは管理者・リーダーのレベルでホームの情報交換をしている。一般職員は参加していないが、同業者間の交換研修を検討し、交流できるようにしていきたいと考えている。</p>		<p>同業者間の交換研修を検討し、交流できるようにしていきたいと考えていることから、実現に向けた取り組みに期待したい。</p>
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が安心して入居できるように体験入居をし、ホームの雰囲気を味わい納得してもらっている。1階のデイサービスセンターに通い、ホームが空いてから入居してもらっている人もいる。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は入居者から、着物の着付けやたたみ方、編み物を教わることもある。餃子やすいとん作りの得意な方には、献立に取り入れ、教わりながら一緒に作っている。米とぎの上手な方は得意分野として関わっている。夜勤の時には、労わりや感謝の言葉をもらい職員は感激することがある。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居時のアセスメントシートによって身体状況や生活歴を確認している。普段から本人の思いや要望を把握して、その人を理解し良いところが活かされるようにしている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>入居時のアセスメントシートによって身体状況や生活歴や病歴を把握し、フロア全体で長期・短期目標を立てて介護計画を検討し作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>月1回のミーティングやショートカンファレンスの中でその都度、介護計画を見直し検討している。新たな介護計画については細かな変化が多く、ミーティング記録やショートカンファレンス記録及び業務日誌に記録し職員で確認している。</p>		<p>見直した新たな介護計画書を作成されることが望まれる。</p>
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>多機能性を活かした支援は特に実施していない。医療連携体制加算を受けており、隔週に提携医の往診があり、訪問看護師が週1回訪問している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ホームが医療法人であることから、隔週に訪問診療もあり、家族も安心してホームのかかりつけ医に変更を希望される方が多い。歯科や他科の受診に家族が付き添った場合は、家族から結果の情報をもらうようにしている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化や終末期に向けた対応方針があり、契約時に家族に説明し、意向を確認している。職員は重度化した場合も見ていきたいと考えている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>職員には守秘義務を確認し、家族には契約時に説明している。個人記録をイニシャルにしたり、トイレ介助の折は目立たぬようさりげなく誘導するなどプライバシーに配慮している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>本人の意向を優先し、台所の手伝いなどその人のペースに合わせて職員と共に行っている。職員が教わることも多い。あまり動かない入居者に対しては、活動を促すようにしている。入居者が希望を持ち安心して暮らせるよう努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は入居者の希望も聞いてフロア毎に担当者がたてている。入居者は職員と一緒に買物、調理、配膳、片付けをしている。食事と同じものを食べており、介助の必要な人にも一緒に楽しめるよう会話をしながら関わっている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は毎日午後行われており、ほとんどの入居者が楽しんでいる。入浴を面倒がり拒む人もいるが、体重を測るなどその日に良い誘い方を工夫して勧めている。入浴できない入居者には、清潔を保つように陰部洗浄やシャワーで対処している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	緑豊かな荒子公園の散歩や荒子観音へのお参りなど外出環境に恵まれている。公園ではこども達と触れ合い元気をもらっている。体験学習の生徒との交わりや、地域のお祭り参加でも楽しんでいる。消極的な人にも活力や楽しみを引き出すよう働きかけている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	荒子公園、荒子観音、近くの喫茶店への散歩を日課としている。日頃の願いを込めて観音様に手を合わせる姿も見られる。季節の変わり目には外食や甘味の店で楽しんでいる。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は夜間以外は開放されている。各フロアの入口は死角で、すぐ前が階段なので、危険を防ぐため、家族の希望もあり施錠が常態化されている。		近所への理解、協力も含めて、鍵をかけない工夫を期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回防火訓練を実施している。6月には夜間火災を想定して消防署の協力を得て避難訓練を実施した。また、職員は各自緊急時対応、救急搬送、症状別対応、バイタルサイン、感染防止、徘徊、地震防災の各マニュアル資料を持ち、緊急時の連絡網も周知している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	各人の1日の栄養・水分摂取量をほぼ把握している。また入居者の希望を献立に取り入れながら栄養のバランスにも配慮して美味しい食事づくりをしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下やホールには、七夕飾りなど季節感ある共同作品が飾られている。テレビの前にはソファが並び、ゆっくりくつろぐことができる。椅子は分散して配置し、自分で選択することの大切さを感じてもらいたいと管理者は考えている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッドやカーテン、エアコンは据え付けだが、整理ダンスや写真、仏壇など馴染みのものも置かれている。各フロアに和室が2部屋ずつあり、入居時、希望により考慮される。入口には折り紙作品や写真の飾り、入居者が居室を間違えないよう工夫されている。		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。